



2010年度ダイバーシティ委員会メンバー  
(ダイバーシティ・フォーラム2010にて)

特集

# 2

掘りだそう、多様性。育てよう、私と **Calbee**。

## ダイバーシティ委員会の活動報告。

カルビーは2010年4月、新たに「ダイバーシティ委員会」を設置しました。これは多様な人材がどのようなライフステージにあっても、能力を最大限に発揮しながら安心してイキイキと働ける会社を目指すために設置されました。ここではそのダイバーシティ委員会の最初の1年間の活動をご紹介します。

### ダイバーシティの推進こそが企業の活性化につながる。

近年、業界を問わず各社が「ダイバーシティの推進」を課題として掲げはじめました。企業が持続可能な成長を続けるためには、人材の多様性を生かせる組織の構築が必要不可欠な要素となっています。

菓子・食品業界は、ほかの業界に比べると進展が遅い業界と言えるかも知れません。日本の菓子業界No.1を目指すカルビーとしては、ダイバーシティの重要性に気づき、まずは男性と比べて出産などのさまざまなライフイベントを迎える女性に着目し、その活躍を推進していくために、「ダイバーシティ委員会」を設置しました。女性中心に15名がグループの枠を飛び越えて組織されました。

新生カルビーの持続可能な発展のためにも、まずは女性従業員が活躍できる会社を目指し、そのためのさまざまな取り組みを行い、社内の意識改革に乗りだしました。

#### ■カルビーダイバーシティ活動推進ロゴマーク



今、自立的な人材が求められています。このマークにはどんな小さな場面でも、私たち全員が自ら、「ハイッ!」と手を挙げられるようになれば多様性は加速する、という想いが込められています。

### 委員会では活動方針や「ダイバーシティ宣言」を決定しました。

#### 2010年度ダイバーシティ委員会活動方針

**ゴール達成に向けた課題の明確化**  
実態調査・データ収集・アンケート実施による今後の計画立案

**諸制度の周知徹底・見直し**  
制度活用ハンドブック作成・配布(2010年7月配布)、効果のある制度(慣習)改革

**従業員の理解・共感獲得**  
全社的啓発活動(大小イベント)の実施

#### カルビーダイバーシティ宣言

掘りだそう、多様性。育てよう、私と **Calbee**。

互いの価値観を認めあい、最大限に活かしかう。

多様性こそ **Calbee** 成長のチカラ。

「ライフ」も「ワーク」もやめられない、とまらない。

### 枠にとらわれず、社外の方とも積極的にコミュニケーションを取りました。

1年を通して、ダイバーシティ委員会は多くのイベントや勉強会を行い、ダイバーシティ推進の重要性を社内に向け発信し続けました。

それはカルビーやカルビーグループ内だけの活動にとどまらず、先進的な企業の担当者様とも積極的にコミュニケーションをとり、ダイバーシティの推進がいかに企業にとって重要なかを、外部の取り組みからも学びました。

その集大成として、2010年11月に226名が参加した「ダイバーシティ・フォーラム2010」を開催し、カルビー、カルビーグループの従業員にダイバーシティ推進の取り組みの本気度を伝えることにも成功しました。



Pick Up

### ダイバーシティ・フォーラム2010

11月10日、全国から226名(ゲスト含む女性154名、男性72名)が集まり、本社上階のシャングリ・ラ ホテル東京にて「ダイバーシティ・フォーラム2010」が盛大に開催されました。

当日は、参加者一人ひとりがダイバーシティを自分ごととしてとらえ、考えるためのディスカッションや、社内ネットワークを広げ共感を持てる仲間を増やすための交流会なども行われ、ダイバーシティの理解を深め、自ら自立的に行動するきっかけとなりました。



#### オープニング



フォーラムの冒頭、伊藤社長より挨拶。「今日からはじめよう、ダイバーシティ!」と高らかに宣言しました。



ダイバーシティ委員会委員長の後藤綾子より、委員会の取り組みやフォーラムの開催の目的などについての説明がされました。

#### ゲストの皆さま



鎌田 由美子さん  
JR東日本 事業創造本部 地域活性化部門部長



インドラ・ヌイさん  
ベブシコ社 会長



ユームラン・ベバさん  
ベブシコ社 アジア・パシフィック地域社長  
カルビー社外取締役

#### Top Commitment

### 女性の活躍なくして企業(カルビー)の成長はなし

私が経営者として会社を成長させるために、ダイバーシティに投資するのはあたり前のことです。ダイバーシティに取り組まない限り、会社は存続できません。今こそ、会社を変えるチャンスなのです。ダイバーシティの推進は、私のコミットメントの1つです。この活動が広がれば、10年・15年後は、日本もすっかり変わっていくでしょう。

カルビー株式会社 代表取締役会長 兼 CEO 松本 晃

2012年度末目標設定(トップコミットメント) 女性管理職比率 各15%以上

#### ●女性管理職比率

カルビー(株)	2010年4月			3年後の目指す姿	
	全体	女性	比率	女性	比率
本部長	12名	1名	8.3%	2名	15%
部長	58名	3名	5.2%	9名	15%
課長	116名	7名	6.0%	18名	15%
合計	186名	11名	5.9%	29名	15%

